

感染症ベーシックスクール in 関東・甲信越 開催報告

2018年12月15日～16日に東邦大学医学部大森キャンパスに於いて、第1回感染症ベーシックスクール in 関東・甲信越を開催いたしました。スクールを開催するにあたり、「患者検体のグラム染色像を実際に顕微鏡で観察してもらいたい」と考え、東邦大学の舘田先生、山口先生、青木先生のご協力をいただき医学部キャンパスを会場としてプログラムを編成しました。1グループ8名、4グループの32名を募集定員とし、満席のお申込みいただきましたが実際の参加者は21名（全員初期研修医）でした。

大曲先生のレクチャー「感染症診療の基本」で1日目のスクールが始まりました。感染症診療のロジックを学んだ後、グループ別の症例検討を行いました。チューターが準備した症例をグループ別にインタラクティブ形式で討論し、患者検体のグラム染色像を顕微鏡で観察するという方式です。グループ別の検討終了後に、各グループの代表者から症例の概略をプレゼンしてもらい、チューターからは症例に関連するレクチャーを行いました。さらに他グループの検体を観察することで参加者全員に4症例を共有していただきました。チューターが準備した4症例以外にも佐々木さん（東邦大学医療センター大森病院・臨床検査部）、土田さん（秦野赤十字病院・検体検査課）が様々なグラム染色検体を準備してくださり、グラム染色像観察のポイントを解説して下さったことから参加者、スタッフ共にグラム染色像観察について理解を深めることができました。意見交換会では2日目の講師である山岸先生（国立感染症研究所）、庄司先生（国立成育医療研究センター）もご参加くださり、参加者同士、参加者と講師・スタッフ間だけではなく、講師・スタッフ同士の情報交換ができた場であったと思います。

2日目は座学中心でした。佐々木さんと池田先生（横浜市立大学・皮膚科）のレクチャーでは、「目で見ると感染症」としてたくさんのグラム染色像と皮膚感染症の写真を見せていただきました。庄司先生からは小児感染症の魅力を熱く語っていただきました。さらに熱かったのが「十人十色の感染症科医」の演者の先生でした。片山先生（東京医療センター）からは海外でのフェロー経験についてのお話、菊地先生（国立感染症研究所）からはアフリカでの移動診療経験と現在のHIVに関する研究についてのお話、山岸先生からは国内外での感染症アウトブレイク対応、主に疫学面での活動についてお話をいただきまし

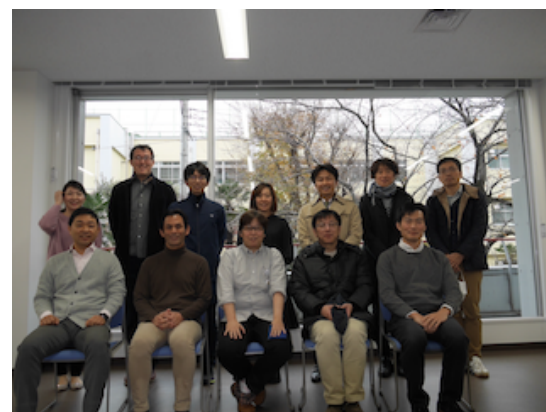
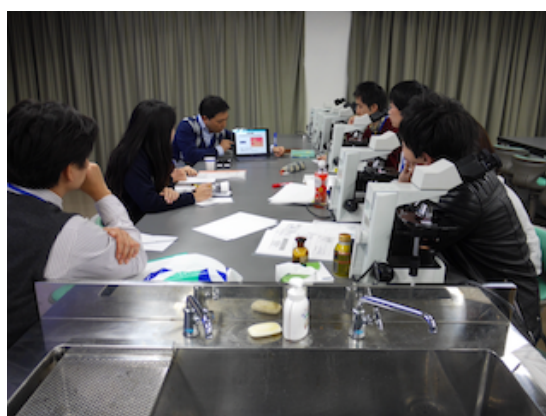
た。参加者だけでなくスタッフにとっても興味深い内容で大いに刺激を受けました。

「患者検体のグラム染色像を実際に顕微鏡で観察してもらいたい」という目標とスクールの準備・運営は、スタッフと佐々木さん、土田さんの献身的なご協力なくしては達成できなかつたと思います。心より感謝を申し上げます。参加者からのアンケート結果やスタッフからの反省点を反映し、次回はさらに良いスクールになるようプログラムを編成したいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

2018年12月27日

感染症ベーシックスクール in 関東・甲信越担当

中村（内山）ふくみ



感染症ベーシックスクール in 関東・甲信越

会 期：2018年12月15日(土)～12月16日(日)

会 場：東邦大学大森キャンパス 第一実習室、講義室

プログラム

12月15日(土) 第一実習室

12:55～13:00 開会挨拶

舘田 一博 (日本感染症学会理事長・東邦大学)

13:00～13:15 「感染症専門医認定制度について」

13:15～13:30 ICE Break (自己紹介など)

13:30～14:00 レクチャー①：感染症診療の基本

大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター病院)

14:00～15:00 症例検討 (グループディスカッション)

- 参加者を4グループに分け、各グループで症例検討、標本の観察を行う。
- 各グループにチューターを配置し、症例検討を進行する。

15:10～18:20 グループ発表+症例の解説+標本観察

18:30～20:30 懇親会 (学生食堂)

12月16日(日) 講義室

9:00～ 9:30

レクチャー②：目で見える感染症～グラム染色から推定される菌と細菌検査の基本～

佐々木雅一 (東邦大学医療センター大森病院・臨床検査部)

9:30～10:00

レクチャー③：目で見える感染症～皮膚病変～

池田 信昭 (横浜市立大学皮膚科)

10:10～10:30

レクチャー④：小児感染症の世界

庄司 健介 (国立成育医療研究センター)

10:40～11:40

十人十色の感染症科医

- FETP 修了者や海外留学の経験などをもつ若手感染症医に自らのキャリアを紹介してもらい、感染症医の活躍分野の広さを知ってもらう。
- 片山 充哉 (東京医療センター総合内科)
- 菊地 正 (国立感染症研究所エイズ研究センター第一室)
- 山岸 拓也 (国立感染症研究所感染症疫学センター)

11:40～11:50

修了式・閉会挨拶

運営スタッフ：

東邦大学大森病院 宮崎泰斗、澤 友歌

横浜市立大学 加藤 英明

東京医療センター 森 伸晃、片山充哉

東京都福祉保健局 松平 慶

東京都保健医療公社荏原病院 佐原利典、田宮彩、中村（内山）ふくみ